

特集：2007年度日本数学会出版賞受賞者のことば

青木薫氏

このたびは伝統ある日本数学界より日本数学会出版賞をいただき、たいへん光栄に存じます。ポピュラー・サイエンスの翻訳が、数学の教育や普及に貢献できると認めていただけたことは、とても嬉しく、また励みにもなります。

私の場合、バックグラウンドは理論物理学です。物理学は数学とシームレスにつながっているとはいえ、数学の本を扱うたびに、自らの力不足を感じないではいられません。そのため、これまではいつも個人的につながりのある数学者のみなさまに助けていただきながら、どうにか仕事をこなすことができました。ご多忙のなか、内容理解について私からの質問に答えてくださったり、ゲラを通読して問題点を指摘してくださったり、はては appendix に出てくる複雑な数式のチェックまでしていただいたこともありました。どれも忘れられない思い出です。力を貸してくださった数学者のみなさまに、心より御礼を申し上げます。

翻訳者は、良い原著に出会えてこそ、力を振るうことも可能になります。そしてポピュラー・サイエンス翻訳の現場では、いち早く優れた原書を見つけ、翻訳者に仕事を依頼し、日本の読者に邦訳を届けるところまでもっていくという仕事は、多くの場合、各出版社の編集者が担っています。さらに言えば、長い目で翻訳者を育てていくのも編集者の仕事です。これまですばらしい数学書と出会わせてくださり、私を育ててくださった編集者のみなさまに、この場をお借りして御礼を申し上げます。

今回の受賞を励みに、これからも臆せずにポピュラー・サイエンスとしての数学書の翻訳に取り組んでいきたいと思えます。数学会会員のみなさまには、どうかこれまで以上に、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

青木 薫（翻訳家）